



滋賀県立文化産業交流会館

びわ湖芸術文化財団・舞台芸術情報誌

Contents

プロデュースオペラ『トゥーランドット』制作発表	…… P2・3
びわ湖ホール声楽アンサンブル Report&News	…… P4・5
公演Report オペラへの招待『メリー・ウィドウ』ほか	…… P6
秋・冬公演 Pick up!!	…… P7
ヴェルツブルク・モーツァルト音楽祭・レポート	…… P8
びわ湖ホールからのお知らせ	…… P9
えいじゃに・滋賀県立文化産業交流会館より	…… P10・11
芸術を支える力	…… P12



『トゥーランドット』制作発表



左から、村田和彦、阪哲朗、栗國 淳、福井 敬

2026年3月に上演する、プッチーニ作曲『トゥーランドット』の制作発表会を7月11日にびわ湖ホールで行いました。

『トゥーランドット』は、“誰も寝てはならぬ”をはじめ、高度な歌唱技術を必要とする美しいアリアが多く、色彩的で卓越した管弦楽法が展開される傑作です。

会見には、びわ湖ホール芸術監督・阪哲朗、演出の栗國 淳、カラフ役の福井 敬、びわ湖ホール館長・村田和彦が出席しました。

劇場初のオーディションなどを経て新制作で取り組む上演となります

阪哲朗(びわ湖ホール芸術監督/指揮)

『トゥーランドット』という作品は、20歳代で初めてブルガリアで指揮しました。

その後もドイツや日本でも指揮していますが、その多くがレパートリー公演や代役でした。

新制作での上演はレーゲンスブルク歌劇場以来2度目で、特に今回は演出家栗國さんとの共同作業なのでとても楽しみです。栗國さんと新国立劇場の『ラ・ボエーム』で一緒に意気投合、指揮者のテンポによってさっと歌手の動きの微調整をしてくださるなど、本当に素晴らしい仕事をされていたので是非にお招きしました。

キャストは、びわ湖ホール プロデュースオペラでは初めて全役オーディションをしました。ドイツの歌劇場などでは当たり前に行っていたのですが、227人も受けに来ていただいて『トゥーランドット』の配役には無い、例えばメツォソプラノなど、いろいろな方の声を聴くことができました。

そしてタイトルロールのトゥーランドット役の2人をはじめ、ほとんどの役をそのオーディションで選ぶことができ、大変有意義であったと考えています。

また、改修工事前の大きなオペラですから、今回は合唱を公募しました。この作品には児童合唱も参加しますし、びわ湖ホール改修前の公演の集大成になるように願っています。

いつも申し上げていることですが、びわ湖ホールという劇場で聴くだけでなく、出演者として舞台上で芝居をし、また歌っていただくことで、劇場に来てくださる方の数を増やしていければ嬉しく思います。



びわ湖ホール プロデュースオペラ (全3幕・イタリア語上演 日本語字幕)

プッチーニ作曲『トゥーランドット』

2026年3月7日(土)・8日(日)
両日 14:00開演(13:15開場 16:45終演予定)
[大ホール]

SS席25,300(24,200)円 S席20,900(19,800)円
A席18,700(17,600)円 B席15,400(14,300)円
C席12,100円 D席8,800円 E席5,500円
U30席(30歳以下)3,300円 U24席(24歳以下)2,200円
友の会優先発売:9月26日(金) 青少年割引当日券
一般発売:9月28日(日)

指揮:阪哲朗(びわ湖ホール芸術監督)
演出:栗國 淳

装置:横田あつみ
照明:原中治美
衣裳:増田恵美
振付:伊藤範子
音響:小野隆浩(びわ湖ホール)
舞台監督:山田ゆか

合唱:びわ湖ホール声楽アンサンブル
『トゥーランドット』合唱団
児童合唱:大津児童合唱団
管弦楽:京都市交響楽団



指揮 阪哲朗

演出 栗國 淳

3月7日(土)

3月8日(日)

トゥーランドット 谷 明美	カラフ 宮里直樹	トゥーランドット 並河寿美	カラフ 福井 敬*
テームール 妻屋秀和	リネ 吉川日奈子	テームール 西田昂平**	リネ 船越亜弥*
皇帝アルトゥム 大野徹也	ピン 晴 雅彦	皇帝アルトゥム 林 誠	ピン 迎 肇聡*
パレン 与 儀 巧	ボン 中井亮一	パレン 福西 仁**	ボン 奥本颯哉*



役人 市川敏雅*

*びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー
**びわ湖ホール声楽アンサンブル
※当初出演を予定しておりました清水徹太郎は病気の療養のため出演できなくなりました。

びわ湖ホールでは2009年に『トゥーランドット』を演出させていただきました。

栗國 淳(演出)

今回、16年ぶりに同じ作品に挑むにあたり、自分の中で作品観がどのように変化したのかを見つめながら、前回とは違う新たな世界を描きたいと考えています。

『トゥーランドット』はグランドオペラではありませんが、スペクタクル的な要素と同じくらい、心理的な要素も重要で、トゥーランドット姫の冷酷な性格の根底には、愛に対するの怯えがあります。トゥーランドットとカラフは冷酷さと情熱的という正反対の世界に生きていますが、それをリユーの持っている「愛」と「犠牲」が2人の心を変え、結びつけていく、この劇的な展開こそが世界中で愛される理由だと思います。

未完成のまま残されたこの作品では、プッチーニが書き終えることなかったフィナーレにアルファード版を用います。

前回はカラフを歌っていただいた福井さんとともに新しい挑戦になると思いますし、また阪さんとこの作品をどのように築き上げていかも大変楽しみです。

現代社会に「愛」は存在するのか、必要なのか、そして本当の「愛」とは何か?

今回の舞台を通して観客のみなさんと問いかけていきたいと思っています。



栗國 淳(演出)
Aguni Jun

東京生まれ、ローマ育ち。サンタ・チェチリア音楽院にて学んだ後、演技演出法をM.ゴボニ女史に師事。ローマ歌劇場演出部にて研鑽後、H.ブロックハウスなどの演出助手としてイタリア各地で活動。2003年にはイタリアのサッサリ歌劇場で演出デビュー。

日本でもゼッフィレッリ、ファッジョーニなど巨匠達の演出助手を務めた後、1997年からは演出家として新国立劇場、藤原歌劇団、二期会、愛知県芸術劇場、びわ湖ホール、日生劇場などで活躍。その抜群の劇場的スケール感と緻密性のある舞台は高く評価されています。現在、日生劇場芸術参与、新国立劇場オペラ研修所プログラムアドバイザー兼アルテ・シェニカ講師。エクソンモービル音楽賞奨励賞受賞。

プッチーニが最後まで完成させていたら、と いつも考えるのです。

福井 敬(テノール カラフ役)

カラフという役は、私にとって最も特別な存在です。これまで出演した作品は67を数えますが、その中では一番多く歌っていて、今回で10プロダクション目になります。1993年の藤沢市民オペラで、畑中良輔先生の日本語訳の上演が最初で、通常歌われるアルファード補筆版とは違うベリオ補筆版でも歌いました。演出の栗國さん、指揮の阪さんとも、すでに一緒にさせて頂いております。

上演する度にカラフという役はどういう人間なのか、と考えながら演じています。オペラの冒頭で父親と再会しますが、普通に考えると国を追われた親子が別の国で出会ったとなりますが、私は違うイメージを持っています。カラフは国を追われる以前に、自分にとっての究極の美、理想を求めて一人、旅立ったのではないかと、演じていて感じるのです。父親やリユーに会い祖国に思いを馳せますが、そこにトゥーランドットという、自分が求めていた究極の美に出会ってしまい、それからは全てを捨ててでもその美をつかみ取るんだ、という強い想いを持って行動します。

この作品はプッチーニの未完の遺作となり、彼が一番描きたかったであろう、姫とカラフとの最後の二重唱を残して世を去りました。最後、トゥーランドットは、権力でも富でもなく、カラフのくちづけひとつで氷のような心が溶けていく。シンプルで美しいドラマがこの場面では描かれています。

もしプッチーニが最後まで完成させていたら、どんな壮大なオペラとなっていたのだろうか?と いつも考えるのです。



福井 敬(テノール)
Fukui Kei

国立音楽大学卒業。同大学院修了後、文化庁オペラ研修所を経て渡伊。二期会『ラ・ボエーム』でオペラデビュー後、新国立劇場開場記念『ローエングリン』をはじめ、『オテロ』『トリスタンとイゾルデ』等主演。とりわけ『トゥーランドット』カラフは様々なプロダクションで

絶賛を博している。近年ではワーグナーの諸役から、びわ湖ホール『こもり』(野村萬斎演出)アイゼンシュタイン等にも出演。コンサートでも、ズービン・メータ指揮ウィーン・フィル「第九」等輝かしい声と卓越した表現力で長きにわたり日本を代表するテノールとして活躍。第65回芸術選奨音楽部門文部科学大臣賞等多数受賞。国立音楽大学教授。東京藝術大学非常勤講師。二期会会員

関連企画

■ オペラ講座『トゥーランドット』(全2回)

映像や音楽を交えながら、存分に予習していただく機会に。『トゥーランドット』を初めて鑑賞される方はもちろん、より深く楽しみたい方にもおすすめの講座です。

- ・第1回 2026年1月31日(土) 14:30 ~ 16:30
- ・第2回 2026年2月15日(日) 14:30 ~ 16:30

講師:東条碩夫(音楽評論家) 会場:コラボしが21 3階大会議室
チケット料金:2回通し券2,200円
1回券(当日残券がある場合のみ販売)1,650円(税込・自由席)
友の会優先発売:2025年9月26日(金) 一般発売:2025年9月28日(日)

■ プレトーク開催決定!

指揮の阪哲朗と演出の栗國 淳が上演プランなどについて話します。

2026年2月23日(月・祝)
[中ホール]

※詳しくは決まり次第
びわ湖ホールホームページに
掲載します。

■ オペラ・ワークショップ

本番を控えた会場で、舞台装置を間近でご覧いただきながら、演出家等がお話します。

2026年3月8日(日) 10:30 ~
[大ホール]

出演:栗國 淳(演出家)ほか
参加費:1,000円
(公演チケット提示の方は無料)



ルチアーノ・ガンチ

「トゥーランドット」の前にイタリアオペラの魅力を堪能する 特別コンサート

ルチアーノ・ガンチ テノール・リサイタル

2024年の東京・春・音楽祭の『アイーダ』で、巨匠リカルド・ムーティからの依頼でラダメス役の代役として出演し成功、一躍脚光を浴びたイタリアオペラ界期待のテノール。新国立劇場では、2023年『シモン・ボッカネグラ』のガブリエーレ役を好演、今年10月『ラ・ボエーム』のロドルフォ役で出演するなど、いま勢いに乗っています。

【曲目】プッチーニ:オペラ『トスカ』より「星は光りぬ」
ヴェルディ:オペラ『海賊』より「全てが微笑んでいるよう
だった〜そらだ、海賊の稲妻を」
レオンカヴァッロ:朝の歌
トスティ:二回目の朝の歌、そうやってほしい
ドリゴ:パレエ「百万長者の道化師」よりセレナード
テ・クルティス:帰れソレントへ ほか

10月13日(月・祝) 14:00開演 [大ホール]
S席5,500(4,950)円 A席4,400(3,850)円
青少年(24歳以下)1,650円 チケット発売中

びわ湖ホール 声楽アンサンブル

Report & News

Report

大阪・関西万博で歌いました

2025年7月24日(木) 大阪・関西万博

7月24日に大阪・関西万博 EXPOホール「シャインハット」で開催された「滋賀県デー〜びわ湖サマークルーズ」に出演しました。

学習船「うみのこ」びわ湖フローティングスクールの出航をモチーフにした演出で、声楽アンサンブルのほかには、天台宗総本山・比叡山延暦寺に1200年前から灯し続けられる「不滅の法灯」の奉安に伴う40人の僧侶による天台声明、滋賀県出身のタレント宮川大輔さん、俳優の高橋ひかるさん、歌手の西川貴教さんらが出演しました。

声楽アンサンブルは、1970年の大阪万博のテーマ曲「世界の国からこんにちは」を冒頭に、そして琵琶湖から大阪湾へ注ぐ水の流れをプログラムに取り入れ、「琵琶湖周航の歌」、当日の万博のナショナルデー(チェコ)にちなんだ「モルダウ」、さらに「川の流れるように」、お馴染みの「江州音頭」などをお届けしました。



さまざまなジャンルの歌の楽しさを多くの方に伝えました



美しい日本の歌

びわ湖ホール公演 2025年8月10日(日) 大ホール
米原公演 2025年8月 2日(土) 県立文化産業交流会館

5年目となる今年は、びわ湖ホールと滋賀県立文化産業交流会館の芝居小屋「長栄座」での2公演を行いました。

びわ湖ホール声楽アンサンブル桂冠指揮者の本山秀毅の指揮、京都フィルハーモニー室内合奏団(オーケストラ)と植松さやか(ピアノ)の演奏で唱歌や童謡、昭和・平成のヒット歌謡曲など多様なジャンルの愛唱歌を披露し、大ホールにつめかけた聴衆を魅了しました。

現在開催中の大阪・関西万博にちなんで、1970年大阪万博のテーマソング「世界の国からこんにちは」を太陽の塔やミヤクミヤクなど万博ゆかりのキャラクターに仮装したメンバーが歌って開幕をしました。続いては「大阪万博の盛り上がり」に負けていません」と滋賀県で開催される「国スポ・障スポ」を紹介、1981年「びわこ国体」を記念して作られた「びわこ讃歌〜びわこことともに〜」が歌われ、その後「高校三年生」「花」「箱根八里」「気球に乗ってどこまでも」「夢の世界を」が披露されました。

その後の「みんなで歌おう♪懐かしの歌メドレー」では客席に降りた声楽アンサンブルのメンバーと観客が、四季にちなんだ「さくらさくら」「うみ」「まっかな秋」「たぎび」を一緒に歌いました。

後半は、「お祭りマンボ」「秋桜」「め組のひと」「みずいるの雨」「DIAMONDS(ダイヤモンド)」「コーヒールンバ」「道化師のソネット」「涙そうそう」「麦の唄」「愛燦燦」といった昭和・平成のヒット曲を歌いました。

多彩な魅力に溢れたロビーコンサートを行いました

メリー・ウィドウ ロビーコンサート

2025年6月20日(金) 11:30~12:00 メインロビー

7月18日からのオペラへの招待「メリー・ウィドウ」の上演に先駆けて、名場面を30分に凝縮したロビーコンサートを行いました。



出演は、並河寿美(ハンナ・グラヴァリ)、高田瑞希(ヴァランシエンヌ)、迎 肇聡(ダニロ・ダニロヴィッチ伯爵)、福西 仁(カミーユ・ロジヨン)という、本公演のキャストが出演、一般募集の「メリー・ウィドウ」合唱団、掛川歩美(ピアノ)と共に演奏しました。

「イントロダクション」、「私は貞淑な人妻」、「第1幕のフィナーレ」より、「森の乙女の歌」、「間抜けな騎兵の歌」、「心の庭のバラの花は」、「たかなるしらべ」の7曲を簡単な演技も交えて披露し、本番への期待を高めました。

七タロビーコンサート

2025年7月2日(水) 11:00~11:30 メインロビー

恒例の七タロビーコンサートを行いました。ロビーには笹も飾られ、用意された短冊に来場者が願いを書いて吊っていました。今年も近隣の保育園、幼稚園の園児も含め300名以上が来場しました。

出演はびわ湖ホール声楽アンサンブル・ソコ登録メンバーの2人のソプラノ、熊谷綾乃と脇阪法子、打楽器の中村めぐみ、ピアノの小林千夏、『ホフマン物語』より「生垣に小鳥たちが〜お人形の歌〜」では、機械仕掛けのオルンピアが歌うアリアで、脇阪がコミカルな人形を演じ、会場から大きな拍手が送られました。また、来場された方と一緒に「たなばたさま」を歌い、映画「となりのトトロ」から「さんぽ」でも手拍子が起こるなど、会場は盛り上がりました。



びわ湖ホール バリトン ブラザーズ

2025年8月4日(月) 11:30~12:00 メインロビー

びわ湖ホール声楽アンサンブル現役メンバーとソコ登録メンバーのバリトン大野光星、西田昂平、市川敏雅と森脇 涼のピアノで、このユニットを結成、初のロビーコンサートに臨みました。

冒頭では、ロッシェニ『セヴィリアの理髪師』の「私は街の何でも屋」で3人のフィガロが登場。続いて独唱でR・シュトラウスの「献呈」(西田)、「よるこびが集まったよりも」(大野)、トスティの「暁は光と闇を分かち」(市川)を披露。

さらに、シューベルト「魔王」を大野が訳詞構成、魔王、子ども、父親を3人がそれぞれ担当、斬新なアイデアと名唱で会場を沸かせました。

また終戦の8月にちなんだ「さとうきび畑」や「マイ・ウェイ」なども披露しました。



わたSHIGA輝く 国スポ・障スポ2025

ロビーコンサート 2025年8月9日(土) 11:00~11:30 メインロビー

滋賀県で9月28日から10月27日まで行われる「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025」の開催まで50日となった8月9日に、びわ湖ホール声楽アンサンブルが本山秀毅(同桂冠指揮者)の指揮、植松さよかのピアノでロビーコンサートを行いました。

大会にエールを送るべく、スポーツに関連した選曲「栄冠は君に輝く」「栄光の架橋」「翼をください」などに加え、1981年「びわこ国体」の際に作られた「びわこ讃歌〜びわこことともに〜」、今大会のイメージソング「シャイン!!」などが歌われ、アンコールの江州音頭で幕を閉じました。会場には、大会 Mascotキャラクターの「キャッフィー」「チャッフィー」、びわ湖ホールシアターメイツ特別顧問の「にゃんばら先生」も姿を見せ、約200人の観客と共に国スポ・障スポへの機運を盛り上げました。



News

びわ湖ホール声楽アンサンブル 第81回定期公演/東京公演vol.16 モーツァルト作曲「レクイエム」

びわ湖ホール声楽アンサンブルのメンバーがさまざまなジャンルの声楽曲をお贈りする定期公演。

第81回は、びわ湖ホール芸術監督の阪 哲朗が、芸術監督に就任以来初めて定期公演の指揮台に立ち、モーツァルトの「レクイエム」とハイドンの「天地創造」を指揮します。

2曲の荘厳かつ繊細な音楽を、声楽アンサンブルの独唱・合唱と多彩な音を奏でる小倉里恵のエレクトーンとともに、お届けいたします。

また、びわ湖ホール公演の2日後には、第16回となる東京公演にて同じプログラムをお届けいたします。

指揮:阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督)
独唱・合唱:びわ湖ホール声楽アンサンブル
エレクトーン:小倉里恵

【曲目】ハイドン:オラトリオ「天地創造」(抜粋)
モーツァルト:レクイエム 二短調 K.626

●第81回定期公演 観席僅少
11月22日(土)14:00開演 びわ湖ホール [小ホール]
一般3,300(2,750)円 青少年(24歳以下)1,650円 [チケット発売中](#)

●東京公演vol.16
11月24日(月・休)14:00開演 東京文化会館[小ホール]
一般4,400(3,850)円 青少年(24歳以下)2,750円 [チケット発売中](#)

びわ湖ホール声楽アンサンブル 第81回定期公演/東京公演vol.16に寄せて 阪 哲朗(指揮)

びわ湖ホール声楽アンサンブルとは、オペラやジャンルヴェスター・コンサート、高校生と共演したコンサートなど様々な公演で共演を重ねていますが、彼らだけが主役の「定期公演」で指揮するのは実に21年ぶりです。初代芸術監督であった若杉弘さんが、当時海外にいた僕に声をかけてくださり、それがびわ湖ホール声楽アンサンブルとの出会いでした。

このたび演奏する2曲は、高校生の時から歌っている愛唱歌で、音楽家になりたいと思った原点でもあります。指揮者としての初舞台で指揮したのもこれらの曲です。

「レクイエム」はモーツァルトが最後に作曲した作品だけに、その集大成ともいえる名曲で、指揮するたびにその素晴らしさを感じます。

今回のような宗教曲では、メンバー16人が各パート4人ずつという合唱で演奏します。オペラ歌手である彼らは、通常はソリストとして一つのパートを一人で歌いますが、皆でチームとして取り組むことになりました。彼らの得意なところをよく知っているの、いろいろ提案して、僕たちならではの音楽を作り上げたいと思っています。

また、エレクトーン伴奏というのがポイントで、オーケストラとほぼ同じような多彩な音が出るように進化を遂げているので、注目していただきたいと思います。



©TAKASHI IMAI

Topics

田中信昭氏に永久名誉指揮者

2024年9月12日に逝去された、故・田中信昭氏のびわ湖ホール声楽アンサンブルにおける称号を、本年9月6日(追悼公演開催日)付で名誉指揮者から「永久名誉指揮者」としました。

2005年11月「びわ湖ホール声楽アンサンブル第29回定期公演」での共演以来、「信昭先生」と呼び慕い、先生と音楽する喜びを分かちあってきました。2018年に名誉指揮者に就任、声楽アンサンブルの発展と滋賀県の文化振興に尽力いただきました。その大きな功績を称え「永久名誉指揮者」の称号をお贈りしました。

これまで信昭先生と積み上げてきた音楽、びわ湖ホール声楽アンサンブルだからこそこの歌を今後も受け継いでいきます。



9月6日の声楽アンサンブルによる田中信昭氏追悼コンサート「愉しく、美しく、すてきな合唱を永遠に」に向けて8月10日から9月1日までメインロビー、公演当日はホワイエで行ったパネル展。これまでの公演ポスターや公演にまつわるスナップを掲出し、多くの人が見入っていました。



パネル展でも展示した2005年の初共演の際に書かれた田中氏直筆の色紙

阪 哲朗オペラセミナーⅢ～『フィガロの結婚』を行いました

2025年8月18日(月)・19日(火)・20日(水)・21日(木)・22日(金) 大ホール

講師:阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督)、三ッ石潤司、西 聡美(ベルリン国立歌劇場コレペティウア)

今年で3年目を迎える阪 哲朗オペラセミナー。オペラ指揮を目指す若手指揮者と劇場でのオペラ上演には欠かせないコレペティウアを5日間みっちり指導しました。

講師は、びわ湖ホール芸術監督の阪 哲朗、ウィーンをはじめとする本場ヨーロッパの劇場でコレペティウアとして活躍し、昨年まで新国立劇場のオペラ研修所専任コレペティウアを務めていた三ッ石潤司、オペラ指揮のスター クリスティアン・ティーレマンが音楽総監督を務め、世界の音楽関係者から注目される最高峰のベルリン州立歌劇場の専属コレペティウアを務める西 聡美という豪華な布陣が揃いました。

今回の参加者には、指揮6人、コレペティウア5人が参加、受講生の何人かはすでに複数回このセミナーに参加しており、日本やヨーロッパのオペラ上演に関わるなど様々な経験を持つ受講者や新人など多彩な顔ぶれが集まりました。

セミナーは、全日、びわ湖ホール声楽アンサンブルがソリストや合唱を務めました。初日から3日まではピアノ2台、4日目と5日目は大阪交響楽団が伴奏をつとめました。モーツァルト『フィガロの結婚』から序曲、アリア、二重唱、六重唱、合唱などを課題に、受講生は講師の指導を受けながら、一日ごとに表現を成長させていき、最終日には成果発表を行い、客席から大きな拍手を受けました。



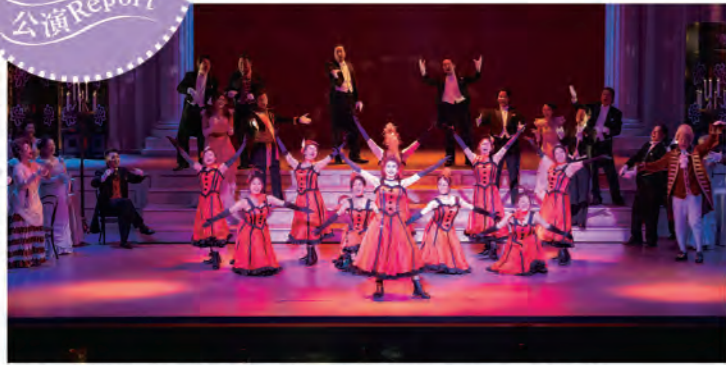
今年のセミナーの様相



オペラへの招待

レハール作曲『メリー・ウィドウ』

2025年
7月18日(金)、19日(土)
20日(日)、21日(月・祝)



ダンサーと声楽アンサンブルのメンバーは連日の稽古で見事なパフォーマンスを見せた



息の合った演技を見せたハンナ(並河寿美) 若々しい歌と演技が好評を博したハンナとダニロ(進 肇聡)〜18日
若々しい歌と演技が好評を博したハンナ(船越亜弥)とダニロ(有ヶ谷友輝)〜19日



歌とコミカルな演技でも魅せたびわ湖ホール声楽アンサンブル

『こもり』と並ぶオペレッタの人気作『メリー・ウィドウ』をオペレッタの殿堂ウィーン・フォルクスオーパーで指揮し高い評価を受けた阪 哲朗が指揮、唐谷裕子が演出を手がけました。

主役のハンナ役は、日本を代表するソプラノ並河寿美とびわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバーの船越亜弥が好演。また、ハンナの相手役ダニロは、ソロ登録メンバーの進 肇聡の貫禄と、声楽アンサンブルメンバーの有ヶ谷友輝の初々しい歌唱というコントラストを見せました。

阪の指揮は、リズム、旋律の歌い方、独特の間などオペレッタの楽しみを存分に味わわせてくれました。

夏休み企画

ピアノ解体ショー

2025年8月3日(日)・4日(月)
リハーサル室

講師:土井政人(株式会社 十字屋 調律師) ピアノ演奏:小林千夏

夏休み企画として定着した「ピアノ解体ショー」は、1時間ずつ①②小学1年生〜中学3年生③小学4年生〜中学3年生と20人ずつ3つの組に分け、ピアノの音が出る仕組みをはじめとして、ピアノにまつわる不思議を解体することで知る企画。



初めて見るピアノの内部を興味深そうに見る子どもたち

参加してくれた方の感想



たにぐち りら
谷口莉愛さん
(8歳・小学2年生)

解体ショーでは、最後の調律にチャレンジしてくれた莉愛さん。ピアノはすでに6年間習っているとのこと。「鍵盤を外したところや、ピアノのいろいろなところを見ることが出来て楽しかった」と語ってくれました。

びわ湖ホール de 「かていんピアノ」をひこう!

角野準斗 UPRIGHT PIANO PROJECT 2025-2026

2025年8月3日(日)〜10日(日)

国際的に活躍する若手人気ピアニスト角野準斗(かていん)がコンサートで使用し、全国各地に感動を届けたアップライトピアノがびわ湖ホールにやってきました。スタインウェイ&サンズ製で、上甲板にはアクリル板がはめ込んであるので、中が見えるのが特徴。



「子どもたちに音楽をつなぐ」をコンセプトとしたプロジェクト。メインロビーと中ホールホワイエで、びわ湖ホールシアターメイッツ会員を中心に、一般の方にも弾いていただきました。

弾いた感想はいかがでしたか

シアターメイッツ会員の たにがき ひめ
谷垣陽愛さん(10歳・小学4年生)

パレエを習っていて、びわ湖ホールにはオペラ、パレエ、コンサートなどで来場。今回はお母さんが「かていんピアノ」の情報をキャッチして申し込んだとのこと。「電子ピアノは家で弾いていますが、このピアノは中が見えて、こんな風になっているとわかって面白いです。実際に弾いてみて、鍵盤が重く、よく響くと思いました」と感想を寄せてくれました。



昨年のC部門第1位の辰野 真さん

第2回 びわ湖ホールピアノコンクール

昨年度、初めて行ったびわ湖ホールピアノコンクール。国籍・居住地等不問。A部門(小学生以下)、B部門(高校生以下)、C部門(一般=年齢不問)の3部門で募集。特に参加資格の上限・下限がなく、課題曲の自由度が高いこと、特に優秀方にはびわ湖ホールの主催公演にて演奏の機会が与えられることから、国内外のコンクールに入賞経験を持つ参加者も集い、高いレベルの競演となりました。

今回も審査員は昨年と同じ、阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督/指揮者)、上野 真(京都市立芸術大学教授/ピアニスト)、土居知子(京都女子大学教授/ピアニスト)です。

すでに映像審査の申し込み期間が終了、112名の申し込みがありました。

予選 2025年12月20日(土) C部門、21日(日) A部門、B部門(中ホール)

本選 2026年2月1日(日)(大ホール) 一般公開します(予選:入場無料、本選:入場料1,100円)

2025年 秋・冬公演 Pick up!!

山海塾「TOTEM 真空と高み」

国内外で高い評価を受け続けている舞踏カンパニー・山海塾。2024年3月に逝去した主宰・天児牛大の最後の作品(2023年世界初演)を関西で初めて上演します。



過去の公演より

演出・振付・デザイン:天児牛大
美術:中西夏之
『カルテット』-「着陸と着水」シリーズより
音楽:加古 隆、吉川洋一郎
舞踊手:蟬丸、竹内 晶、市原昭仁、松岡 大、石井則仁、岩本大紀、高瀬 誠、伊藤壮太郎

11月1日(土) 14:00開演【中ホール】

一般5,500(4,950)円 青少年(24歳以下)2,200円 チケット発売中

文化庁子供鑑賞体験支援事業の取り組みとして、6〜18歳の方をご招待します。詳しくはびわ湖ホールホームページへ

マーラー・シリーズ

沼尻竜典x京都市交響楽団

マーラー・シリーズ第6弾は、交響曲第9番です。最後の交響曲となったこの作品は、自らの病気、家族の早世など、死と向き合いながらも自らの創作力の全てを注ぎ込んだ結果、最高傑作にふさわしい作品となりました。これまで、数々の名演をのこしてきた沼尻竜典と京響のコンビの演奏に期待が高まります。



沼尻竜典



京都市交響楽団

【曲目】マーラー:交響曲第9番

11月23日(日・祝) 14:00開演【大ホール】

S席6,050(5,500)円 A席4,950(4,400)円 B席3,850円 C席2,750円
青少年(24歳以下)1,650円 シアターメイッツ770円 チケット発売中

大人の楽しみ方41 <ジャズ>

Makoto Ozone No Name Horses ~20年目のthe Day 1

「Yes, we are a BIG BAND!
僕たちがビッグバンドで本当にやりたかったこと」

ジャンルを超え世界規模での活躍を続けるピアニスト小曾根 真の呼びかけで結成されたビッグバンド「No Name Horses」。あらゆるシーンで活躍するトップ・ジャズ・ミュージシャンたちが結成20年全国ツアーのフィナーレをびわ湖で飾ります!



過去の公演より

出演:小曾根 真(ピアノ)
エリック・ミヤシロ、奥村 晶、松井秀太郎、岡崎好朗(トランペット)
中川英二郎、マーシャル・シルクス(トロンボーン) 山城純子(バストロンボーン)
岡崎正典、池田 篤(アルトサクソフォン) 三木敏雄、陸 悠(テナーサクソフォン)
岩持芳宏(バリトンサクソフォン)
小川晋平(ベース) 高橋信之介(ドラムス)

12月21日(日) 15:00開演【大ホール】

S席6,600(6,050)円 A席5,500(4,950)円 青少年(24歳以下)2,200円
シアターメイッツ1,100円 チケット発売中

大人の楽しみ方40 <バンドネオン> 小松亮太 バンドネオンカルテット ~アルゼンチン・タンゴとバンドネオンの世界

タンゴというジャンル自体を体現し、アルゼンチン音楽家協会から表彰されるなど、世界的なバンドネオン奏者である小松亮太が、信頼する3人のバンドネオン奏者、ギター、ベースと共に、アルゼンチン・タンゴとバンドネオンの魅力をお届けします。



小松亮太

出演:小松亮太、北村 聡、早川 純、鈴木崇朗(バンドネオン)
田中伸司(コントラバス)、福井浩気(ギター)

【曲目】A.ピアソラ:リベルタンゴ、アディオス・ノニーノ
小松亮太:風の詩~THE 世界遺産
J.S.バッハ:小フーガト短調 BWV578 ほか

11月15日(土) 14:00開演【中ホール】

一般5,500(4,950)円 青少年(24歳以下)2,200円 シアターメイッツ1,100円 チケット発売中

文化庁子供鑑賞体験支援事業の取り組みとして、6〜18歳の方をご招待します。詳しくはびわ湖ホールホームページへ

野村万作・野村萬斎 狂言公演

恒例の野村万作・野村萬斎の狂言公演。愛らしいキャラクターの登場人物たちと日本の「中世」を旅しませんか。親子三世の共演も見どころの狂言公演は世代を超えてお楽しみいただけます。



野村万作



野村萬斎



野村裕基

12月6日(土)
昼公演13:00開演 夜公演17:00開演
【中ホール】

S席6,600(6,050)円 A席5,500(4,950)円 青少年(24歳以下)3,300円
シアターメイッツ1,650円 チケット発売中

文化庁子供鑑賞体験支援事業の取り組みとして、6〜18歳の方をご招待します。詳しくはびわ湖ホールホームページへ

びわ湖ホール ジルヴェスター・コンサート2025

1年を締めくくる特別な日、最高の音楽に包まれて過ごすひと時!

今年は昨年に続いて、芸術監督の阪 哲朗が指揮、2025年5月開催のエリザベト王妃国際音楽コンクール第2位となった話題のピアニスト久末航が登場します。大晦日はびわ湖ホールのジルヴェスター・コンサートへ。ウェルカムコンサートやお楽しみ抽選会もあります。



過去の公演より

指揮:阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督)
出演:久末 航(ピアノ)、中嶋彰子(ソプラノ)
藤木大地(カウンターテナー)、桂 米園治(司会)



久末 航

大阪交響楽団(管弦楽)、びわ湖ホール声楽アンサンブル(独唱・合唱)
シルヴェスター合唱団(一般参加)、シルヴェスター・ファンファーレ隊(一般参加)
シルヴェスター・ユース合唱団(一般参加)

【曲目】ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第3番
J.シュトラウスII世:「こもり」よりハイライト ほか

12月31日(水) 15:00開演【大ホール】

SS席9,900(9,350)円 S席8,250(7,700)円 A席6,600(6,050)円 B席4,950円
C席3,850円 青少年(24歳以下)S~C席2,200円 シアターメイッツS~C席1,100円
友の会優先発売:10月9日(木) 一般発売:10月11日(土)

滋賀県立文化産業交流会館

Art journey

えいじやに

※Art journeyからネーミングした「えいじやに」では、「文化産業交流会館」とびわ湖芸術文化財団「地域創造部」からのイベント情報を発信します。気軽にArtの旅を楽しんでください。

キッズワークショップ・箏

箏爪のつけ方、楽譜の読み方、演奏時の姿勢など基本的なことから学びます。4人の講師のきめ細かい指導も魅力です。

講師：田中久美子、橋本桂子
島田彩寧、小野弥生
アドバイザー：片岡リサ



キッズワークショップ・日本舞踊

浴衣の着方から、立ち居振る舞いの所作も含め、踊りの基礎から学びます。成果発表時の化粧も受講生の楽しみです。

講師：花柳緑春奈
アシスタント：藤間勘翠香



次世代につなぐ伝統芸能!

「キッズワークショップ箏・日本舞踊」
&
「箏曲ジュニア・アンサンブル」

当館では子どもの時から箏や日本舞踊に触れて、日本の伝統芸能に親しんでいただくと、夏から秋にかけて、ワークショップを行っています。小中学生を対象に基礎から応用まで、子どもたちの成長や経験に合わせて技術を身につけていきます。参加者の声をお届けします。

箏曲ジュニア・アンサンブル

「キッズワークショップ箏」の修了生による「中学生になっても箏を続けたい!」という声から生まれた事業です。演奏技術もワンランク上を目指します。

講師：片岡リサ



参加者の声

うだ がわゆい
宇田川結唯さん
(中学2年生)

小学1年生の時から「キッズワークショップ・箏」に参加していたので、今年で8年目になります。

キッズの時、ジュニアの皆さんの技術や演奏会時の和装姿が恰好良くて憧れだったので、ジュニアに進みました。ジュニアの楽譜は難しいし、求められることはレベルが高いですが、演奏のバリエーションが増えて楽しく、自主練も苦になりません。箏は近所の方が譲ってくれたり、祖母は私の演奏会のために着付けを習って、振袖を着付けてくれました。周りの協力も嬉しいです。

普段は部活のバレーボールに夢中です。突き指しないように気を付けます。今年は、二人のパートなのでミスしないように、また他パートとの掛け合いも意識して演奏したいです。

キッズワークショップ&
箏曲ジュニア・アンサンブル
成果発表会

これまでの成果をお披露目します!

日時 11月9日(日) 15:00開演
会場 新江州シアター
料金 無料(要整理券)
整理券配布 10月4日(土)



夏居小屋「長栄座」
夏のフェスティバル ご来場者の声

8/2(土)~8/11(月・祝)に開催した、芝居小屋「長栄座」夏のフェスティバルご来館のお客様の感想をご紹介します。

びわ湖ホール音楽アンサンブル
8/2(土)「美しい日本の歌」米原公演 vol.5

公演内容：童謡、唱歌、歌謡曲など、心に響く歌を日本情緒あふれる芝居小屋で堪能いただきました。

- びわ湖ホールにはなかなか観にいけなかったので、米原公演が嬉しい。心にしみる歌声でした。(70代)
- 何曲か一緒に歌えて楽しい企画でした。(80代)



8/3(日) 昔あそびのひろば

公演内容：「長栄座」内でけん玉やメンコ、カラムなどの昔あそびを楽しんでいただきました。忍者ショーも開催。

- 未来へつなごうたい日本の文化である昔あそびや紙芝居、忍者ショーなど、空間ごと体験できるようなイベントで意義深いと感じました。上の世代の地域の方と未来を担う世代の交流に心あたりました。(30代・保護者)
- 縁日も昔あそびも種類が多く楽しめました。涼しい館内でゆっくり安心して遊べたこと、アットホームな雰囲気だったこと、とてもよかったです。(30代・保護者)



「藤原道山 & 片岡リサ デュオ・コンサート」
8/9(土) 一尺八と箏で綴る日本の四季

公演内容：藤原道山と片岡リサを軸に邦楽のみならずクラシック音楽とのコラボレーションを通じて、邦楽の新たな魅力を伝えました。

- 春夏秋冬に沿って弾き歌いされた歌曲に心がふるえました。後半の洋楽器とのコラボもよかったです。(50代)
- 子どもも終始とてもよく聴いていました。とても楽しかったです。(40代)
- 熟練された音色とともに、緊張感が漂う演奏、とても素晴らしいひとときでした。(80代)



8/11(月・祝)「湖北百景-羽衣舞う余呉」

公演内容：余呉に伝わる「羽衣伝説」と能「羽衣」を能楽組曲「余呉」として再構成しました。

- オープニング、トークショー共に楽しませていただきました。能はさすが、素晴らしかったです。普段の能の橋掛りとは違って、花道の使用はダイナミックに感じました。(60代)
- 余呉の伝説を次世代に伝えることができる作品でとても嬉しく思います。(60代)
- 新作能、楽しみにしていました。新作能「菊石」、もう一度観たいです。(50代)



Topic

当館の小劇場の名前が変わりました!

県の施設や事業、イベントなどに対し、企業名や商品のブランド名などを冠した愛称を付ける「ネーミングライツ」(命名権)制度。当館の小劇場のネーミングライツパートナーが決まり、9月1日から次の名前になりました。

新名称 新江州シアター

新江州株式会社は、滋賀県長浜市に拠点を置き、包装資材販売、住宅加工販売、段ボールケース、プラスチック段ボール加工販売などの業務を展開されている会社です。

滋賀県アートコラボレーション事業

淡海奇譚芸術祭

アニメ『けいおん!』の聖地、豊郷小学校旧校舎群で新感覚のカルチャー・フェスティバルを開催します。ステージでは、ドラッグクイーンによる華やかなショーや朗読劇、ファッションショーなど、多彩なパフォーマンスが目押し! また、40組以上の個性派クリエイターによるハンドメイド雑貨やファッション小物、体験型ワークショップ、グルメ屋台を楽しめます。

日時 10月26日(日) 10:00~16:00

会場 豊郷小学校旧校舎群
(犬上郡豊郷町石畑518)

料金 無料。事前申し込み不要

お問合せ [HP]https://ateliermorphe.com/lp/omikitan/
[メールアドレス]info@ateliermorphe.com



淡海奇譚芸術祭 メインビジュアル

びわ湖・アーティスト・みんぐる
C³(シーキューブ)vol.3~東洋と西洋の《関》~

滋賀を題材に、「弦楽四重奏×現代音楽」の切り口で新作を初演するコンサート・シリーズ。今回の委嘱作曲家は、日本の言葉や文化を取り入れた現代音楽を数多く手掛ける桑原ゆうさん。湖北の観音さまがテーマの弦楽四重奏曲を、琵琶奏者の久保田晶子さんを迎えて披露します。

日時 11月8日(土) 14:00開演

会場 中川能舞台(長浜市地福寺町8-29)

出演 ルリトラノオ弦楽四重奏団
亀井庸州、松岡麻衣子(ヴァイオリン)、
安田貴裕(ヴィオラ)、竹本聖子(チェロ)
ゲスト 久保田晶子(琵琶)

料金 一般3,000円 24歳以下1,500円

お問合せ 地域創造部 TEL. 077-523-7146



作曲家 桑原ゆう
@Miyuki.Takano

アートと地域のためのパフォーマンス・プロジェクト
~ヴォーリズ建築で奏でる音楽の調べ~

県内に点在するヴォーリズ建築で、滋賀ゆかりの音楽家による演奏会を行います。

日時 11月15日(土)・16日(日) 各日13:00開演

会場 吉田悦蔵邸(近江八幡市池田町5丁目21-3)

出演 東出菜々(クラリネット)
砂川恵(ピアノ)

近江八幡公演では、演奏後に講演会を開催いたします。(演奏会にお越しの方のみ聴講いただけます)
講師：柴田英夫、吉田与志也

料金 一般4,000円 24歳以下2,000円 吉田悦蔵邸

日時 12月21日(日) 14:00開演

会場 旧水口図書館(甲賀市水口町本町1丁目2-1)

出演 塚本ひらき(チェロ)、砂川恵(ピアノ)

料金 一般2,000円 24歳以下1,000円

お問合せ 地域創造部 TEL. 077-523-7146



旧水口図書館

季刊誌 湖国と文化 第193・秋号

特集 朽木と生きる~(村)の底力

〈県内・唯一の村〉だった琵琶湖の源流・朽木。合併20年、厳しい過疎化の中、「朽木と生きる」様々な人たちがこの地で見つけ・見つめているものを伝えます。第二特集は、国宝になった琵琶湖湖底水です。

10月1日発売予定

<販売価格> 660円

<取り扱い> 県内書店、公式オンラインショップ、びわ湖ホールシアターショップ、滋賀県立文化産業交流会館 など

<お問合せ・購入申込>

びわ湖芸術文化財団 地域創造部
「湖国と文化」編集室
TEL.077-523-7146



「湖国と文化」193号

びわ湖ホール・芸術支援への思い

東レエンジニアリング(株) 代表取締役社長 **岩出 卓**

企業が持続可能な成長を遂げるためには、社会的価値と経済的価値を同時に創出する「CSV(Creating Shared Value)」の視点が不可欠です。当社は、事業活動を通じた技術革新に加え、地域の文化・芸術を支援することで、社会との共通価値の創造を目指しています。びわ湖ホールへの支援は、まさにその実践の一環であり、地域社会との共生を深める取り組みとして位置づけています。

当社は本年、創立65年目を迎えました。60周年の節目に、創業の地である滋賀県に対して何らかの形で恩返しができないかと検討を重ねてまいりましたが、折しも新型コロナウイルスの影響により、具体的な取り組みは一時的に見送らざるを得ませんでした。

そのような中、今般、びわ湖ホールのオフィシャルスポンサーとして支援を開始する運びとなりました。びわ湖ホールは、日本有数の舞台装置を備えた劇場であり、国内外の優れた芸術作品を紹介する場として、文化・芸術分野において大きな役割を果たしています。滋賀県には「琵琶湖八景」と呼ばれる美しい景観があり、古くから「三井寺」や「余呉の羽衣伝説」などの古典芸能の題材としても取り上げられてきました。これらの作品における琵琶湖の存在は、地域のアイデンティティや誇りを象徴するものであり、芸術文化の根幹をなすものといえます。

当社は、びわ湖ホールが今後も地域の文化的拠点として、芸術の発

信と継承に貢献し続けることを心より期待しております。そして、微力ながらもその一助となることができれば、創業の地への感謝の気持ちを形にすることができると考えております。芸術を支えることは、未来の豊かな社会を築く礎となると信じ、今後も地域とともに歩んでまいります。

今後も、地域社会とのつながりを大切にしながら、文化・芸術の価値を共有し、持続可能な社会の実現に向けて、企業としての責任を果たしてまいります。



2025年7月 びわ湖ホールオペラへの招待『メリー・ウィドウ』より

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号
TEL.077-523-7133 FAX.077-523-7147
https://www.biwako-hall.or.jp/

びわ湖ホール 検索

チケットInformation

インターネット予約 <https://www.biwako-hall.or.jp/>

電話予約 チケットセンター
TEL.077(523)7136

窓口販売
2階チケットセンター

10:00~19:00 / 火曜休館 ※休日の場合は翌日。

※チケット料金は消費税込の価格を表示。 ※()内は友の会会員料金。 ※一部公演を除き全席指定。
※一部公演を除き6歳以上入場可。

【青少年割引当日券の販売】 青少年割引当日券がある公演は、公演当日に残席がある場合に限り、青少年(24歳以下)の方に、半額で当日券を発売いたします。SS~E席のみ。U30~U24席は除く。※劇場窓口のみ取扱い。学生証など年齢のわかるものをご提示ください。

【シアターメイツ優待公演】 シアターメイツチケットはびわ湖ホールチケットセンターのみの取扱い(電話・窓口のみ)。



《アクセス》
大阪から新快速で約40分、京都から約10分 名古屋から新幹線/京都駅のりかえで約60分

- JR琵琶湖線(東海道本線)「膳所」駅より徒歩約15分。または京阪電車のりかえ「石場」駅より徒歩約3分
- JR琵琶湖線(東海道本線)「大津」駅より徒歩約20分

《駐車場のご案内》有料849台 24時間営業 料金: 7:00~23:00 1時間毎210円(4時間経過後1時間毎110円)
23:00~7:00 1時間毎110円(時間内最大料金420円)

滋賀県立文化産業交流会館
Shiga Theatre for Cultural and Industrial Development

〒521-0016 滋賀県米原市下多良2-137
TEL.0749-52-5111 FAX.0749-52-5119 https://www.s-bunsan.jp/ 文産 検索

チケットInformation

インターネット予約 <https://biwako-arts.tstar.jp>

パソコン(座席選択可)、スマートフォン(座席選択不可)から24時間いつでもチケット予約・購入ができます。お支払いは、クレジットカードのご利用のほか、全国のセブンイレブン・ファミリーマートでのお支払い・チケットの受け取りも可能です。(一部公演、席種を除く)

【利用方法】①チケット予約・購入 ②チケットの受取(セブンイレブン・ファミリーマート)
※お支払い、チケットの受取方法をお選びいただき、期日までにお手続きください。お支払い、チケットの受取方法により、代金の他に手数料がかかります。

電話予約、窓口販売 直接、下記までお問い合わせください。
滋賀県立文化産業交流会館 TEL.0749(52)5111
※月曜休館、月曜日が休日の場合はその翌日以降の休日でない日。年末年始(12月29日~1月3日)



《アクセス》
《電車でお越しの方》
JR新幹線・琵琶湖線・東海道本線・北陸本線 米原駅西口より徒歩7分
《お車でお越しの方》
北陸自動車道米原インターより約10分 または 名神高速道路彦根インターより約15分
《駐車場のご案内》360台(無料)